

科目名称	精神障害の作業療法基礎
授業コード	AE256
英語名称	Foundation of Occupational Therapy Theory: Psychosocial Dysfunction
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	黒川 喬介, 大関 健一郎
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	精神疾患により生活が障害された人々に対し、個別あるいは他の人達との関わりや、具体的・現実的な作業活動を利用し、精神機能の向上、対人関係の改善、作業能力の改善などをはかり、そうした人々がより良い生活を送れるように指導、援助する役割を理解する。そして、各疾患（統合失調症、気分障害、神経症、境界性パーソナリティ障害、摂食障害、てんかん、依存症候群、認知症など）の理解と作業療法の展開を学習する。 尚、本科目は上記内容について精神科および認知症専門病院での作業療法に従事していた実務経験のある教員による実践的科目である。
科目に関連する実務経験と授業への活用	大関、黒川ともに精神科作業療法および認知症治療病棟の勤務経験を有する。教科書に書いてある抽象的な表現は、現場経験のない学生には理解しがたいものであるが、豊富な経験から具体的なエピソードを交えた説明をすることで、学生の理解と学習意欲を高めることが可能。
到達目標	ディプロマ・ポリシーに掲げる、作業参加を通じて人々の健康と幸福を促進する作業療法士としての役割や職責を理解している【役割と職責】、様々な側面から対象者を全人的・統合的に理解する上不可欠な基礎医学的知識および作業療法を理解し基本的な臨床技能を実践できる【知識・技能】が実現するように、精神疾患別の、特徴、評価、治療方法を理解する。 ・対象者を他部門情報、面接、観察、検査などを通して多角的な視点で見る必要性を理解する。 ・作業療法士の役割の中で倫理的配慮をもって治療にあたる知識を理解することができる。
計画・内容	1) 精神障害の概要：精神科作業療法に用いられる用語について（大関） 予習）教科書を読んでおく（復習）ノートをまとめる 2) 精神科作業療法の基本的な流れ（大関） 予習）教科書を読んでおく（復習）ノートをまとめる 3) 気分障害の作業療法（症状の理解）（黒川） 予習）教科書を読んでおく（復習）ノートをまとめる 4) 気分障害の作業療法（作業療法の展開）（黒川） 予習）教科書を読んでおく（復習）ノートをまとめる 5) 統合失調症（症状の理解）（大関） 予習）教科書を読んでおく（復習）ノートをまとめる 6) 統合失調症（作業療法の展開）（大関） 予習）教科書を読んでおく（復習）ノートをまとめる 7) 神経症の作業療法（大関） 予習）教科書を読んでおく（復習）ノートをまとめる

計画・内容	<p>8) パーソナリティー障害の作業療法 (大関) 予習)教科書を読んでおく 復習)ノートをまとめる</p> <p>9) 摂食障害の作業療法 (大関) 予習)教科書を読んでおく 復習)ノートをまとめる</p> <p>10) 依存症の作業療法 (黒川) 予習)教科書を読んでおく 復習)ノートをまとめる</p> <p>11) てんかんの作業療法 (黒川) 予習)教科書を読んでおく 復習)ノートをまとめる</p> <p>12) 認知症の作業療法 (症状の理解) (黒川) 予習)教科書を読んでおく 復習)ノートをまとめる</p> <p>13) 認知症の作業療法 (作業療法の展開) (黒川) 予習)教科書を読んでおく 復習)ノートをまとめる</p> <p>14) 治療構造 (5つの要素) (大関) 予習)教科書を読んでおく 復習)ノートをまとめる</p> <p>15) 治療構造 (環境設定) (大関) 予習)教科書を読んでおく 復習)ノートをまとめる</p> <p>大関: 作業療法士 黒川: 作業療法士</p>
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・板書、配布資料、PowerPointを利用した授業形式で行う。
能動的な学びの実施	<p>各章ごとに国家試験に似た問題からケーススタディを行う。その中で、単純記憶の学習でない思考過程を体験し、考える能力を高めていく。</p>
授業時間外の学修	<p>授業前の予習は、教科書、参考書等の該当箇所を読み、不明な点をまとめておく。 授業後の復習は、教科書、参考書、プリントと授業内容を関連付けて自分の講義ノートを整理すること。 (合計60時間程度)</p>
教科書・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・小川敬之、竹田 徳則: 認知症の作業療法 第2版 ソーシャルインクルージョンをめざして、医歯薬出版 (2016) ・堀田英樹: 精神疾患の理解と精神科作業療法 第3版、中央法規 (2020)
成績評価方法と基準	<p>学習の節々で評価試験 (小テスト) を実施し、平均60%以上を合格とする。 * 大学指定の期末試験期間の定期試験は行わない。小テストの結果で評定する (100%)。</p>
課題等に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストについては、適時フィードバックを行う。 ・授業中に質問があった場合、その都度フィードバックを行う。
オフィスアワー	<p>「CampusSquareを参照」</p>
留意事項	<p>2年後期の本科目では、各疾患 (統合失調症、気分障害、神経症、境界性パーソナリティー障害、摂食障害、てんかん、依存症候群、認知症) の理解と作業療法の展開を学習し、3年次前期の精神障害の作業療法応用で学習する、各精神疾患に対する具体的な治療計画の立て方と効果測定につなげる上での必要な基礎知識の体得を目指す。</p>
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・zoomによるオンライン授業と課題学習、オンデマンド授業を組み合わせる。 <p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テストの平均点で評価する (100%)